お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながることがあります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。
また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると変色するおそれがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合は、お早めにお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

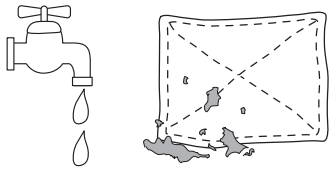
お手入れ方法

樹脂製商品

■通常のお手入れ

1 表面のホコリ・砂を落とす

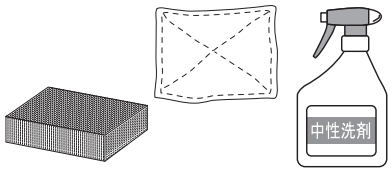
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

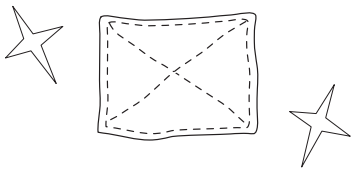
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



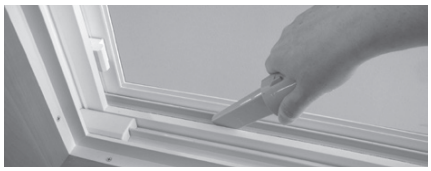
下枠・レール

● 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

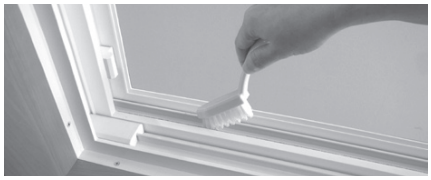
■下枠・レールのお手入れ

1 砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

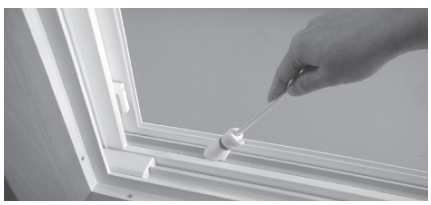


または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2 汚れをふき取る

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



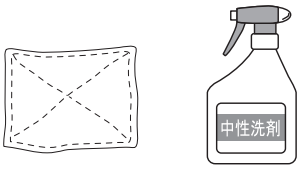
ガラス

- ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について
  ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。
  これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。
  ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ガラスのお手入れ

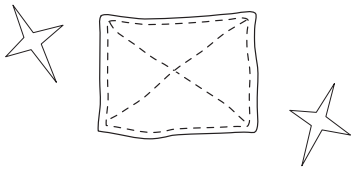
1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



ハンドル・引き手

「■通常のお手入れ」を参照してください。

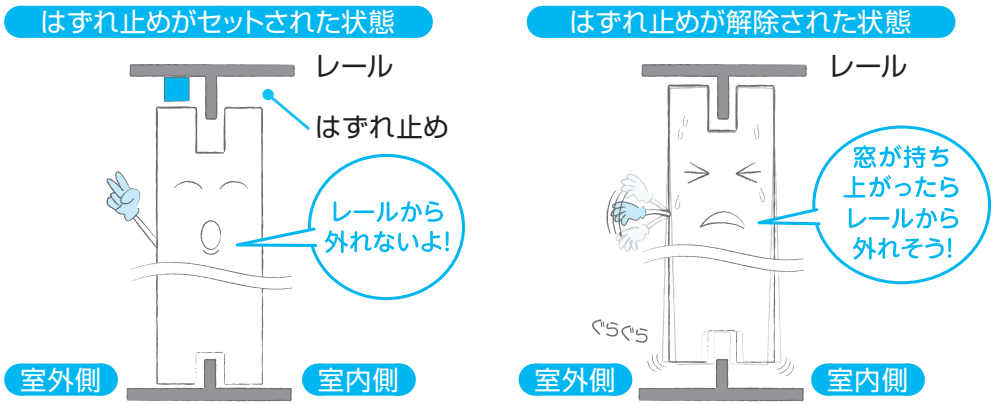
引違い窓（プラマードU）

はずれ止めとは

はずれ止めは、窓が持ち上がって脱落、落下するのを防止するための部品です。
窓を取りはずす時以外は、絶対にはずれ止めをはずさないでください。
また、はずれ止めのない位置で窓を持ち上げると、窓がはずれますのでご注意ください。

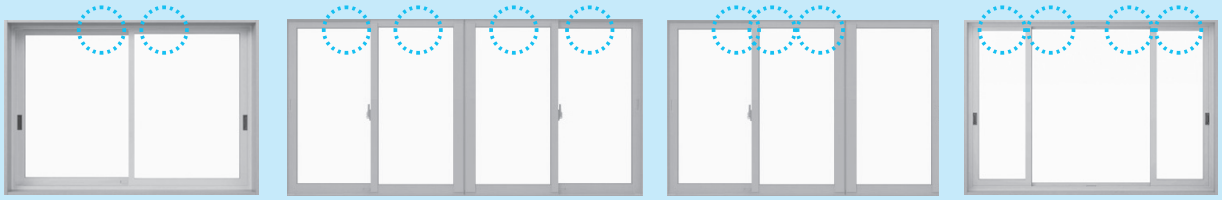
ご使用前に確認してください

●必ず、「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



はずれ止めは室内側の窓の上枠にあります。
※窓のタイプや枚数、サイズによって、はずれ止めの数や位置が異なります。
窓に隠れて見えない場合がありますので、窓を開閉して位置を確認してください。

［室内側］

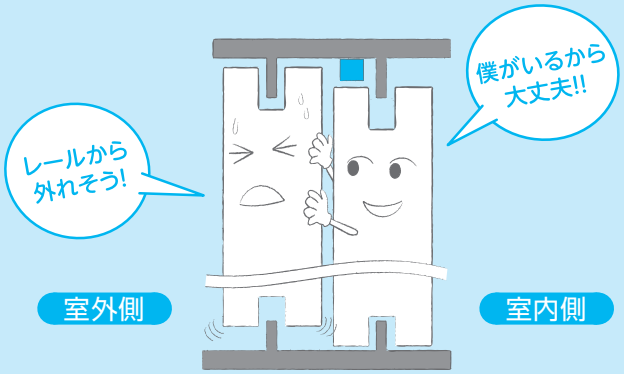


2枚建て
1〜2か所

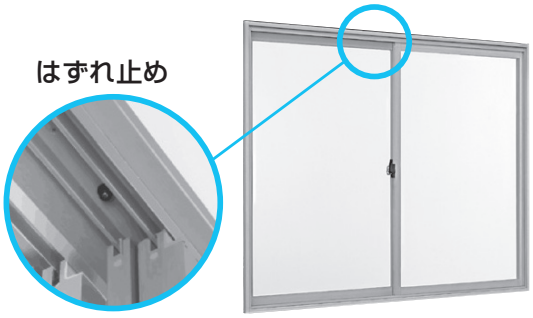
4枚建て
4か所

3枚建て
（突合せタイプ）
2〜3か所

3枚建て
（両袖タイプ）
2〜4か所



窓の取りはずし方



⚠注意

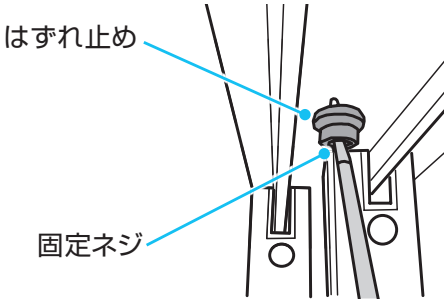
●ガラスの入った窓は重量があります。
窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。
窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
＜窓重量の例＞
例1）幅750mm、高さ1500mm、ガラス厚3mm単板ガラスの場合：約10kg
例2）幅1500mm、高さ1800mm、「3+A12+3mm」の
複層ガラスの場合：約40kg

1 はずれ止めを取りはずす

固定ネジをプラスドライバーで反時計回りにまわして、はずれ止めを取りはずします。

※窓サイズによって、はずれ止めの数は異なります。

●はずしたネジや部品は、取り付けの際に必要となりますので失くさないよう保管してください。



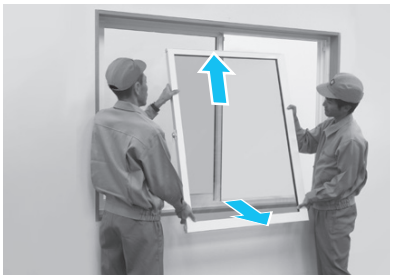
2 窓を取りはずす

内側の窓を持ち上げ、窓の下部を手前に引いて下のレールからはずします。

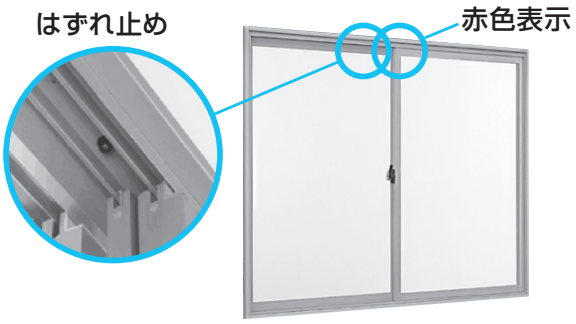
外側の窓も同様に取りはずします。

お願い

●取りはずした窓は、養生された場所に静かに置いてください。乱暴に扱うと、窓が破損するおそれがあります。



窓の取り付け方



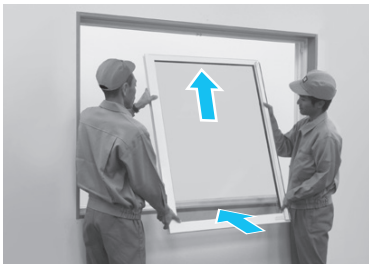
⚠注意

●ガラスの入った窓は重量があります。
窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。
窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

1 窓を取り付ける

外側の窓の上部を上のレールにはめ、窓を持ち上げて下のレールにはめ込みます。

内側の窓も同様に取り付けます。

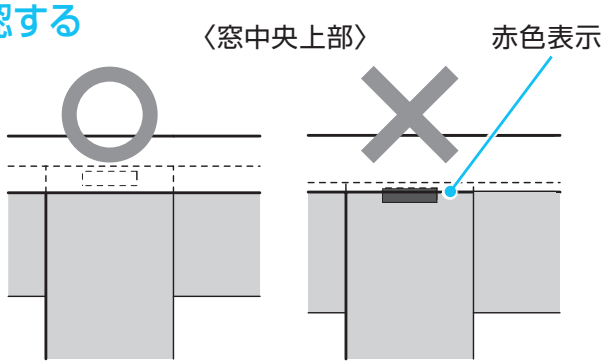


2 赤色表示が見えないことを確認する

⚠注意

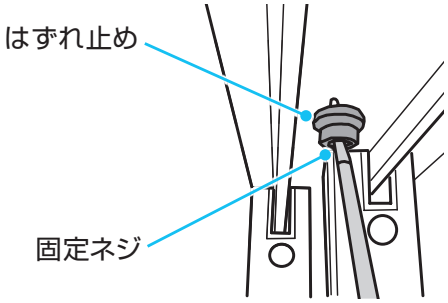
●赤色表示が見えないことを確認してください。赤色表示が見える場合、上枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

（点検方法は➡「保守点検項目」を参照してください）



3 はずれ止めを取り付ける

プラスドライバーではずれ止めの固定ネジを時計回りに少しずつまわしてしめます。窓の開閉に支障がないことを確認します。



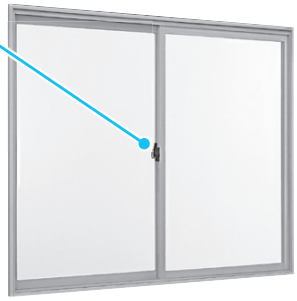
⚠注意

- はずしたはずれ止めは、必ずすべて取り付けてください。はずれ止めが取り付いていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

- 固定ネジは強くしめすぎないでください。はずれ止めが破損するおそれがあります。

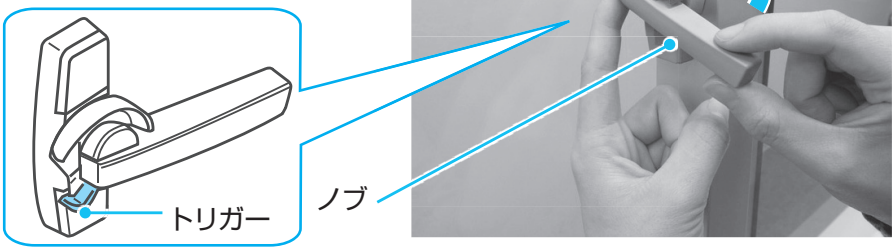
クレセントの調整方法



クレセントをロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント本体の位置を上下に調整する方法を説明します。

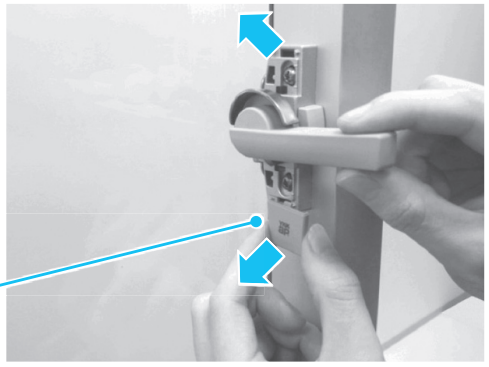
1 クレセントのノブをまわす

トリガーを指で押さえながら、クレセントのノブを中央位置までまわします。



2 カバーをはずす

カバーをはずし、ネジが見える状態にします。

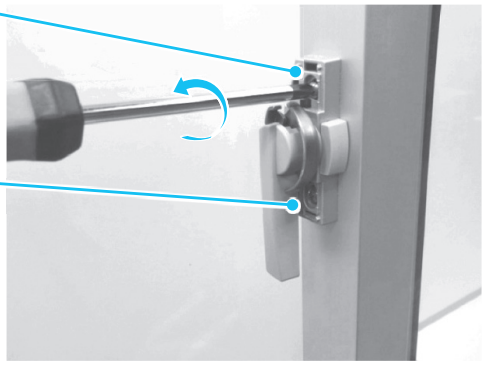


3 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

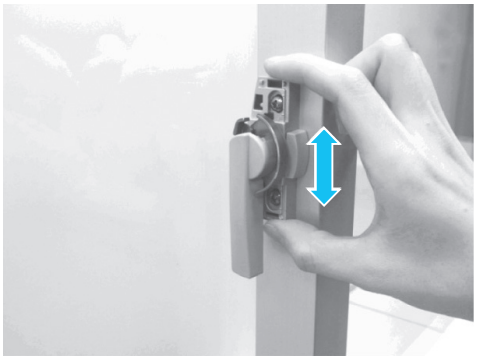
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



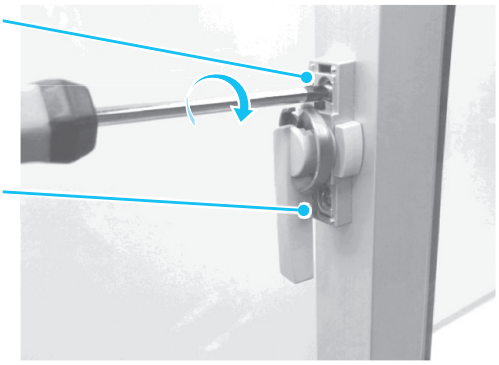
4 クレセントの位置を調整する

クレセントを上下に動かして位置を調整します。

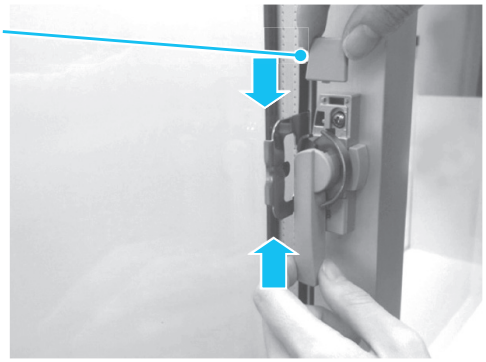


5 ネジをしめる

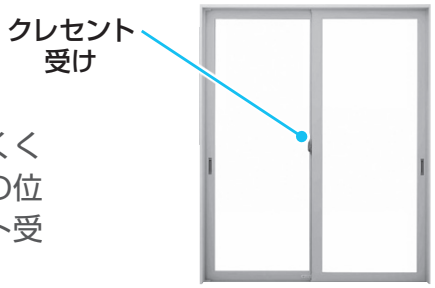
上下のネジを時計回りにまわしてしめます。



6 カバーを取り付ける



クレセント受けの調整方法

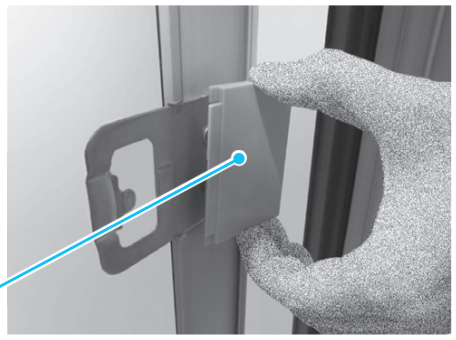


クレセントをロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント受けの位置を左右に調整する方法を説明します。

●調整する際、すべりにくい手袋を着用すると、より作業性が良くなります。

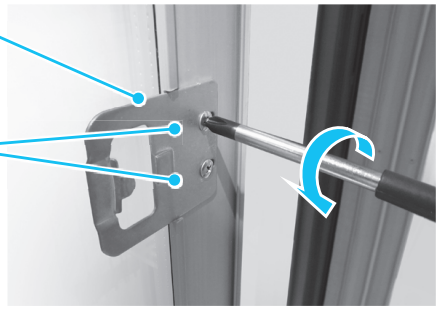
1 クレセント受けカバーをはずす

クレセント受けカバーを上下につまむように持って引っぱり、はずします。



2 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。



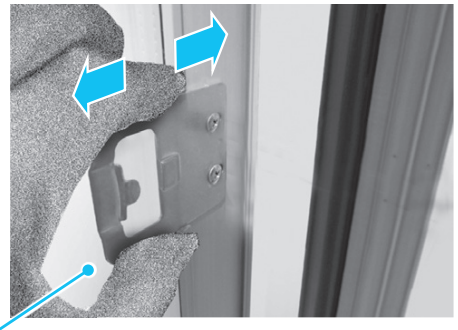
お願い

●ネジは絶対にはずさないでください。
部品が落下するおそれがあります。

3 クレセント受けの位置を調整する

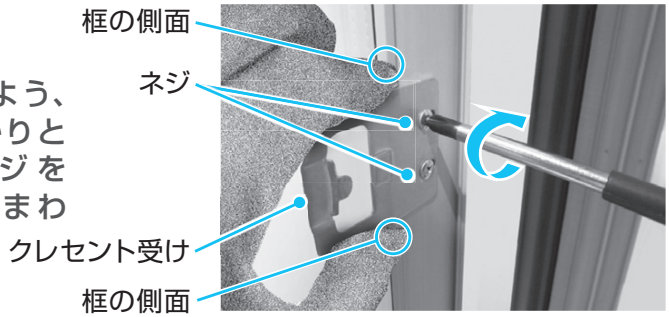
クレセント受けの上下を持ち、左右に動かして位置を調整します。

※動かせる範囲は左右約2mmずつです。



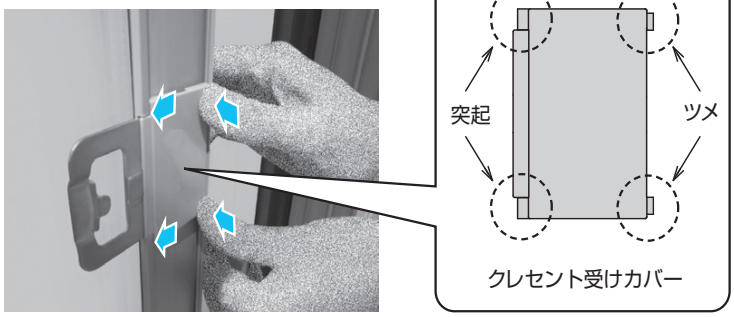
4 ネジをしめる

クレセント受けがズレないよう、框の側面に指をかけてしっかりと保持しながら、上下のネジを交互に少しずつ時計回りにまわして固定します。

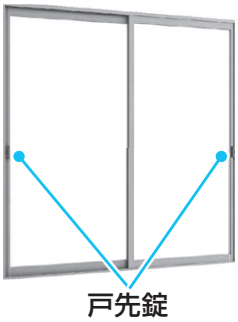


5 クレセント受けカバーを取り付ける

クレセント受けカバーの突起を差し込み、ツメがかかるまで押し込みます。



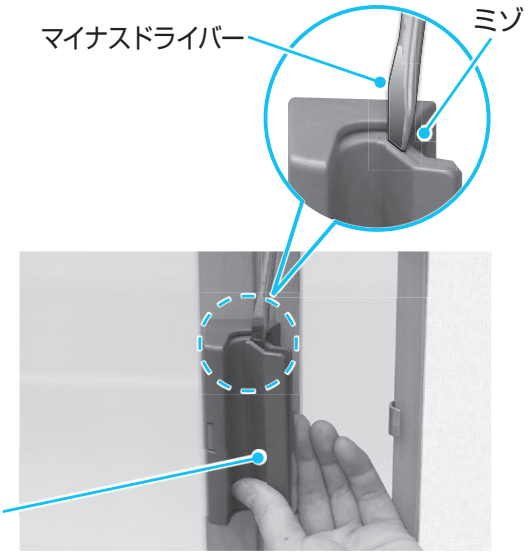
戸先錠の調整方法（窓・テラスタイプ共通）

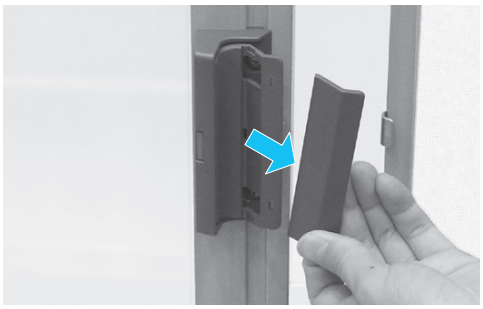


戸先錠をロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、戸先錠本体と戸先錠受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、戸先錠の位置を左右に調整する方法を説明します。

1 ネジカバーをはずす

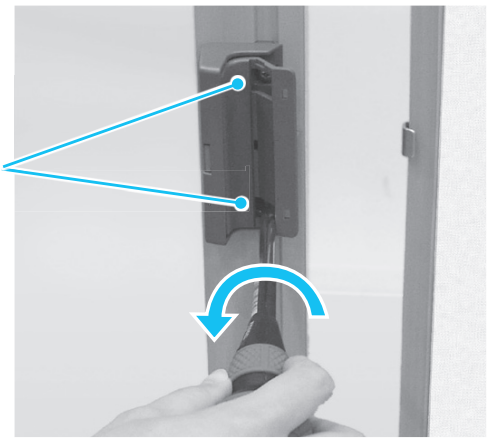
窓を5cm程度開けて、戸先錠のネジカバーのミゾにマイナスドライバーを差し込み、ネジカバーをはずします。





2 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りに１回転まわしてゆるめます。



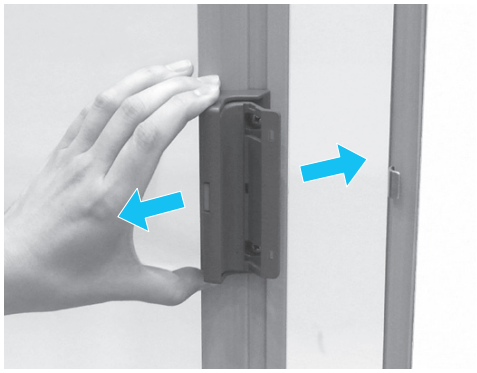
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

3 戸先錠の位置を調整する

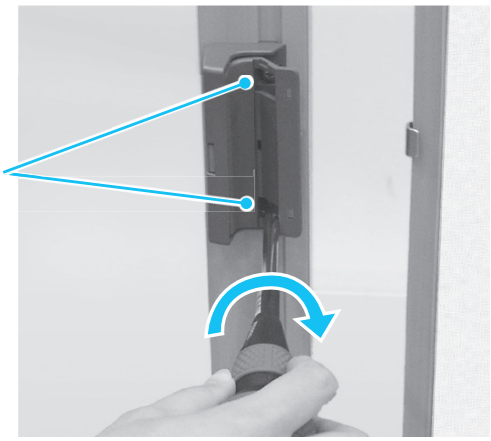
戸先錠を左右に動かして位置を調整します。

※調整範囲は約2.5mmです。



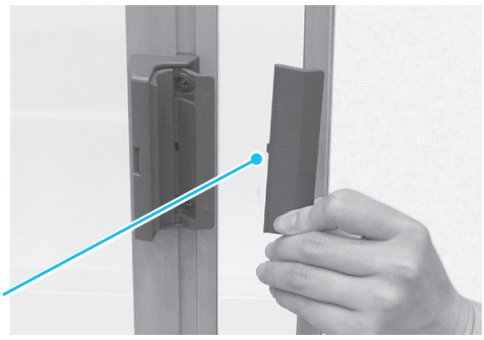
4 ネジをしめる

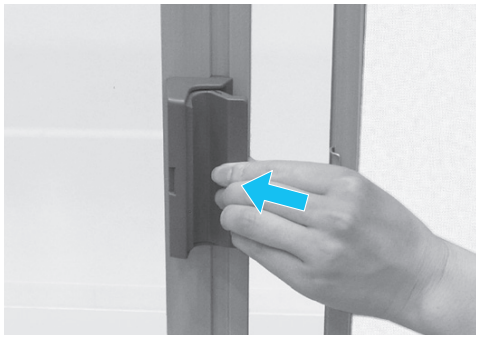
上下のネジをプラスドライバーで時計回りにまわしてしめます。



5 ネジカバーを取り付ける

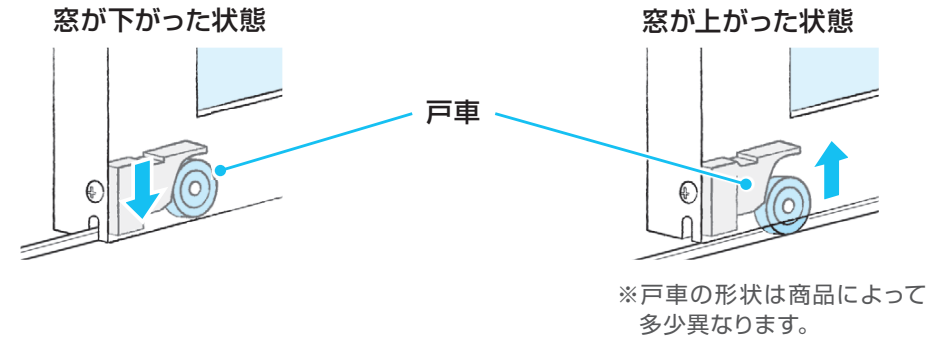
ネジカバー中央部の突起を差し込み、レバー部に押し付けて取り付けます。



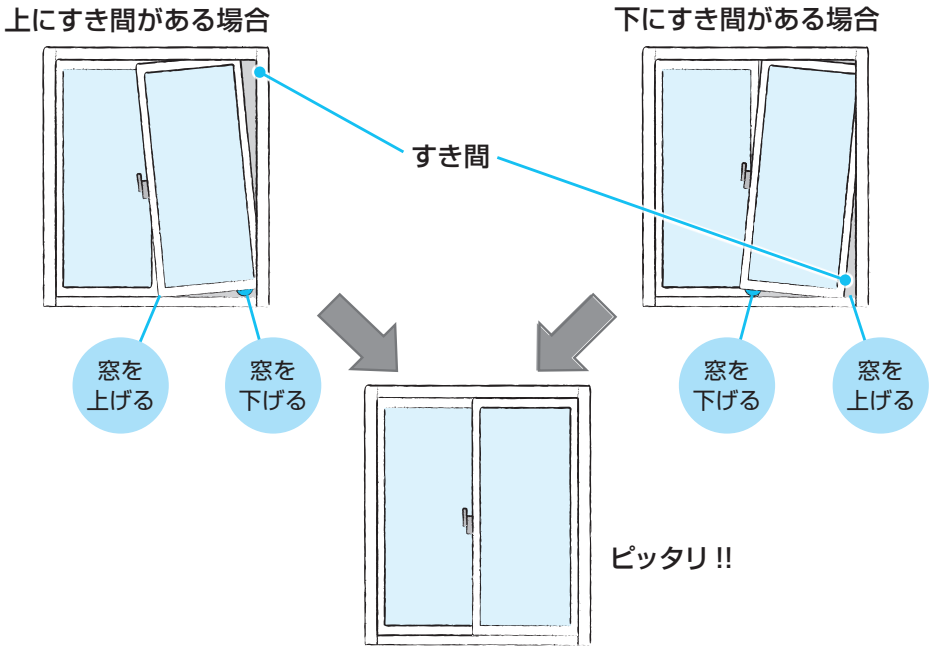


戸車とは

各窓の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整することで窓の高さが変わり、傾きを調整することができます。窓がピッタリ閉まらないときは、戸車調整を行ってください。

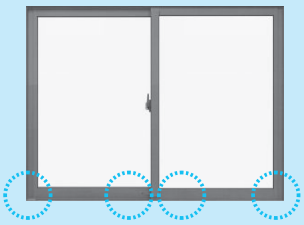


※戸車の形状は商品によって多少異なります。



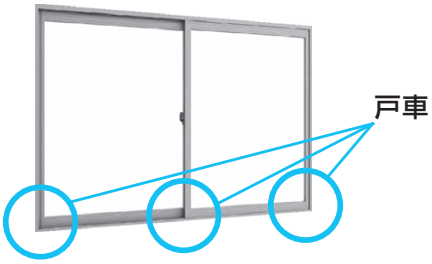
戸車は、窓の下両端にあります。

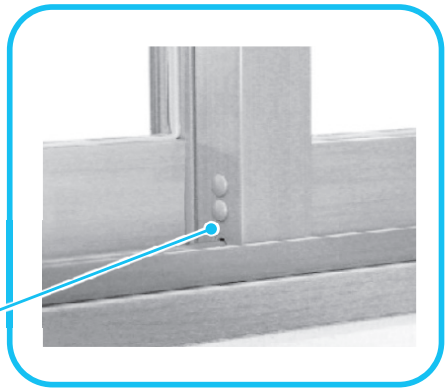
引違い窓



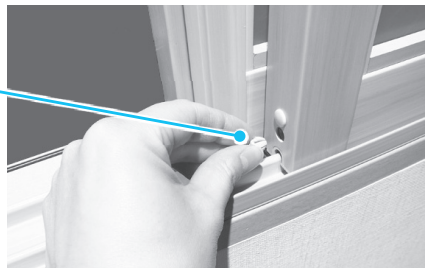
戸車の調整方法

戸車の調整ネジの位置や形状などは、商品によって異なる場合があります。
ここでは、窓タイプを例に説明します。





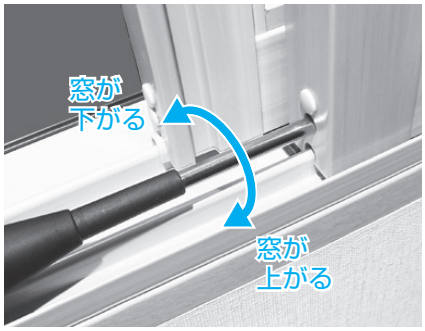
1 ネジ穴キャップをはずす



2 戸車を調整する

プラスドライバーをネジ穴に差し込み、調整ネジをまわして戸車を調整します。

※戸車を調整すると窓の高さがかわります。



お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。